



笠山は約 8,000 年前に起きた単成火山（1 回の噴火でできた火山）です。冷えて固まった溶岩は、陸上では照葉樹林や海岸植生、海中では藻場を支えています。人々はその中から木材や石材、海産物を得ることと文化を育んできました。

小さな火山が育む生命のいきなみ



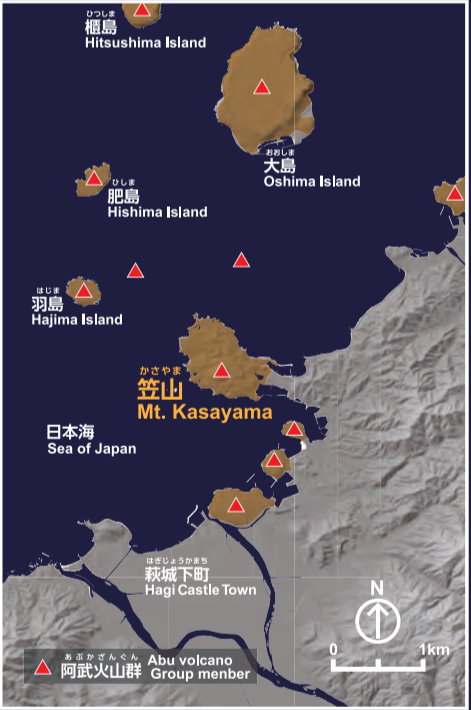
笠山の成り立ち

萩ジオパーク



地球目線の歩き方

かさやま  
笠山  
Mt. Kasayama



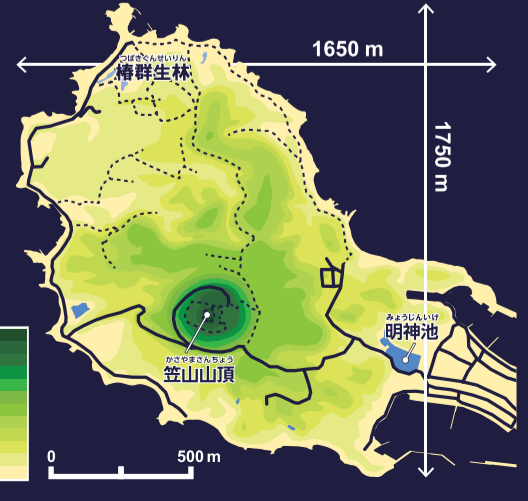
かさやま  
笠山 Mt. Kasayama  
標高 elevation ... 112 m  
外周 perimeter ... 6100 m  
年平均気温 average annual temperature (過去 30 年) ... 15.5 °C

注意事項

- 美しい景観と生態系を守るため、ゴミは持ち帰りましょう。
- 岩石や動植物などの自然資源の破壊や持ち出しは禁止です。

萩ジオパークは日本ジオパークの一員です。

萩市、阿武町、山口市阿東で構成される「萩ジオパーク」は、大地と共生する持続可能な日本社会の実現を目指しています。  
【お問合せ】 萩ジオパーク推進協議会  
〒758-8555 萩市江向 510 / TEL 0838-21-7765

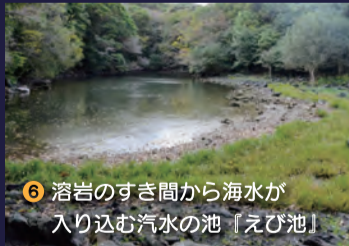
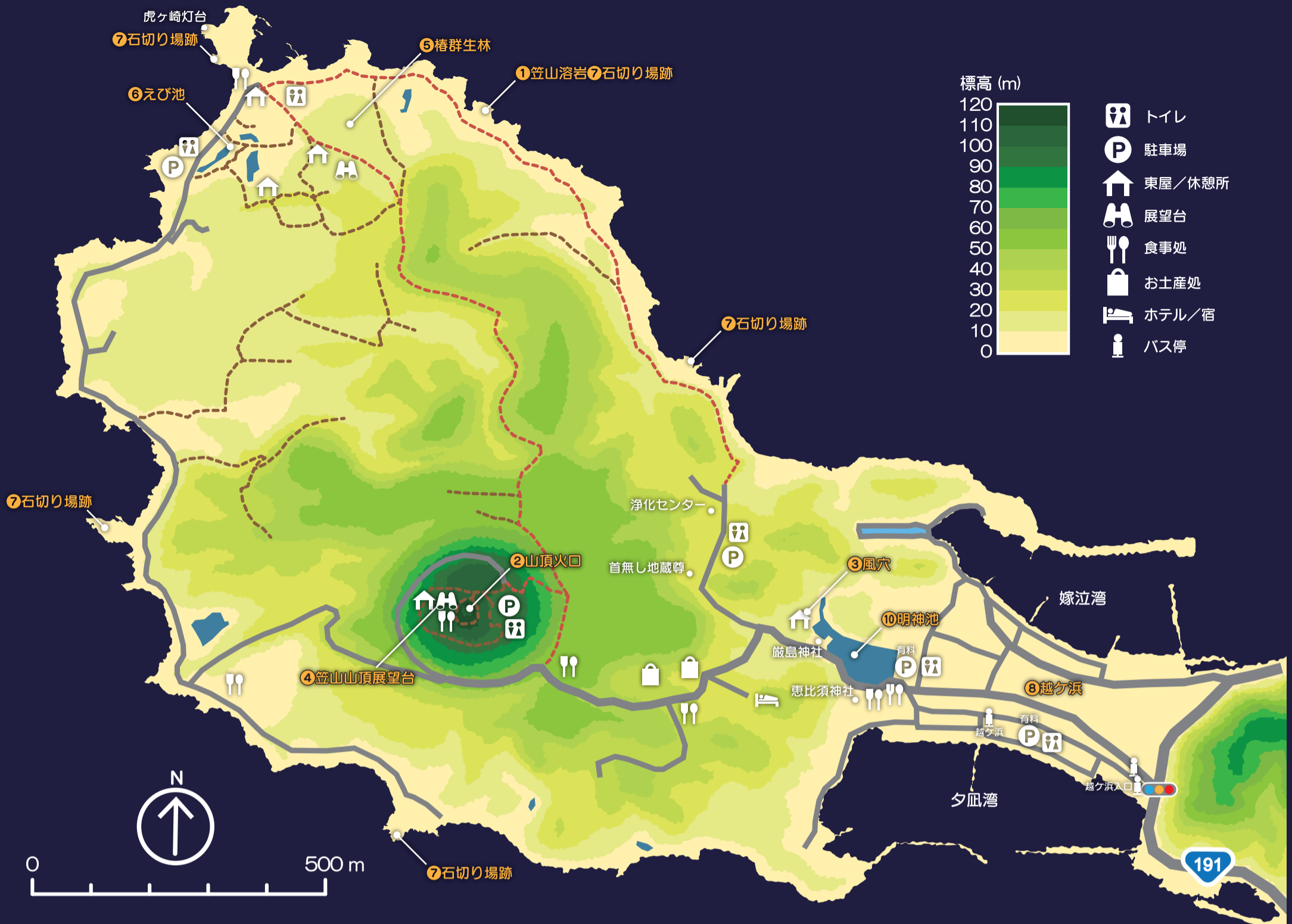


小さな火山の大きな恵み



萩ジオパーク推進協議会





### 溶岩とマグマのしぶきでできた小さな火山

笠山は約 11,000 年前から 8,800 年前まで続いた噴火でできました。はじめに溶岩（安山岩）が流れ出して平らな溶岩台地ができました。沿岸部ではその時の溶岩に触れることができます(1)。噴火の終盤には、噴水の様にマグマのしぶきが上がり大気中で冷え固まって火口の周辺に降り積もりました。山頂では噴火口に入ることができます(2)。降り積もったマグマのしぶき（スコリア）に触れてみましょう。足もとの石を手にとると見た目よりも軽いと感じます。マグマが発泡して空気をたくさん含んでいるためです。

### 小さな火山の大家族の末っ子

笠山は、実は噴火の度にマグマの出口が変わる火山活動（阿武火山群）の最後にできた火山です。山頂から見える6つの平たい島々(4)も、笠山と同じようにしてできた火山です。同様の火山は山間部にもあり、全部で50ヶ所以上にもなります。笠山は火山の大家族の末っ子なのです。

### 火山が育む生命のいとこ

笠山の溶岩は独特の生態系を育んでいます。溶岩が崩れてできた岩場では、冬に岩のすき間にたまった冷気が夏に流れ出ます(6)。周辺は真夏でも気温が15℃前後で、寒地性植物が暖地性植物と共存しています。沿岸部では海水が溶岩のすき間から入り込む汽水の池が点在し、塩水を好む植物が生息しています(6)。「明神池」はかつて島だった笠山が砂州で本土とつながった時に埋め残った海水の池です(10)。池の中には、地元の漁師たちが奉納した海の魚が泳いでいます。

### 火山を支える漁師町、そして城下町

笠山は人の暮らしも支えています。土壌が薄く、潮風にさらされる環境でも育つヤブツバキは燃料や材木として使われました(5)。ゴツゴツした海中の溶岩には海藻が繁茂し、それを食べてウニやサザエが育つほか、魚の住みかにもなっています。周囲は古くから漁師町(8)として栄え、今でも定置網漁や素潜り漁が盛ん(9)で、季節ごとに旬の海の幸を味わえます。溶岩は、江戸時代に栄えた萩城下町の石材としても使われました。海岸の岩場を良く見ると、クサビを打ち込んだ穴（矢穴）が見つかります(7)。